

■プロポーザルで選定した設計事務所から提出された技術提案書(抜粋)

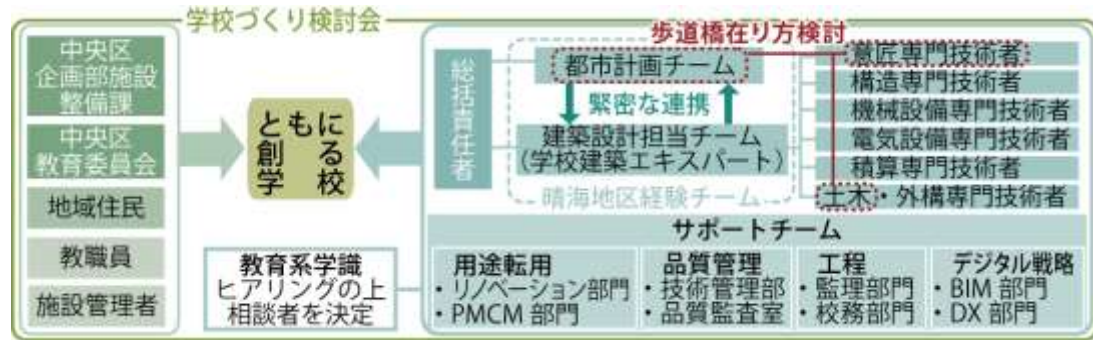
※本内容は会社の技術力を審査するための資料であり、デザインや設計案が決まったものではありません。

子どもたちの成長に、晴海のまちとひとに、寄り添い、変化・成長しつづける学び舎を中央区のみなさまと共に実現します。

テーマⅠ：業務の実施方針(組織の体制及びスケジュール管理)並びに成果物等の品質確保

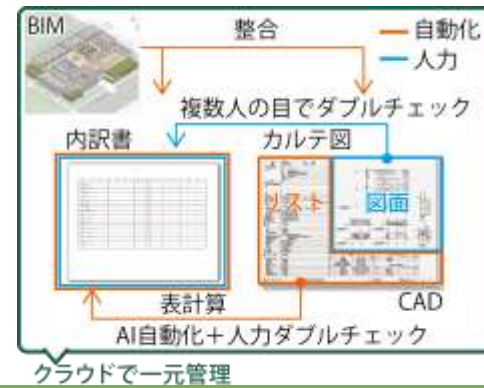
① 設計チームの取組体制、スケジュールの組立て方や管理について

晴海地区 & 学校専門家によるここだけのチームづくり
本計画に最適なチーム体制



② 成果物等の品質向上について

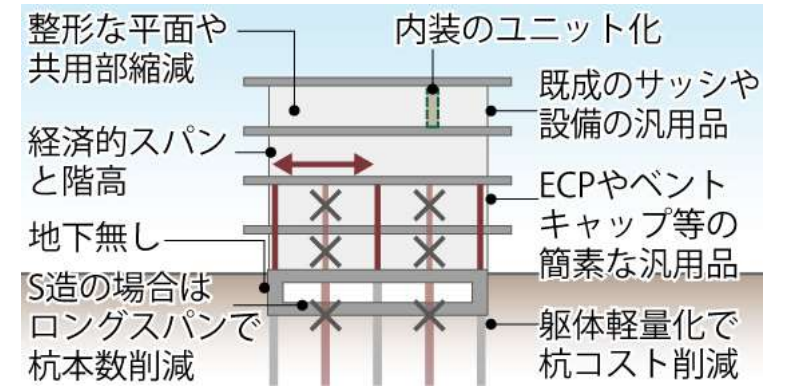
自動化×人の目×多重チェック方式で更なる品質向上
BIMやAIを活用した成果品質向上



テーマⅤ：適正な工期及び工事価格算出の考え方

① 工期及び工事価格の乖離をなくすための対策

積極的なコスト削減メニュー

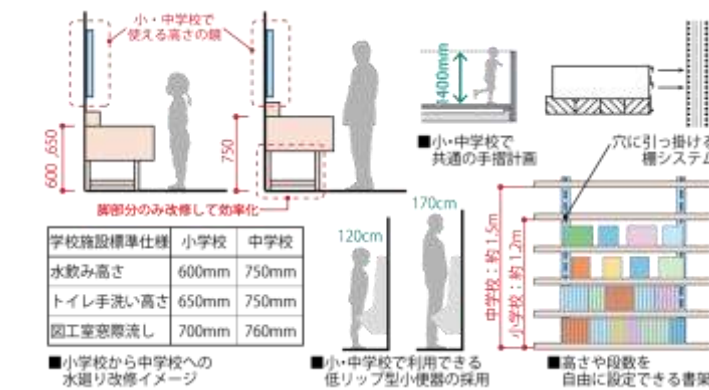


テーマⅡ：用途転用とレイアウト変更を重ねる学校施設の提案

効率的な用途転用に配慮したレイアウトと設備の提案・

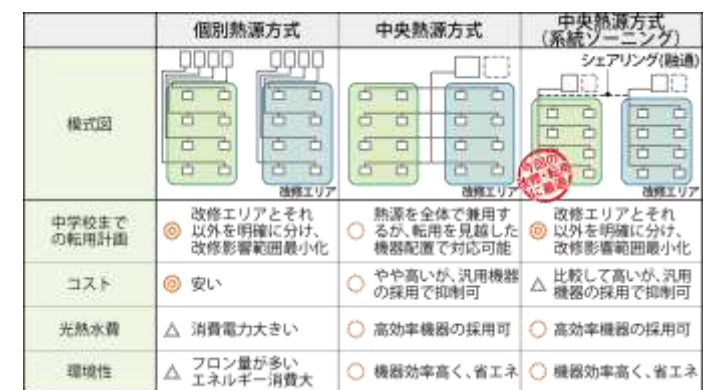
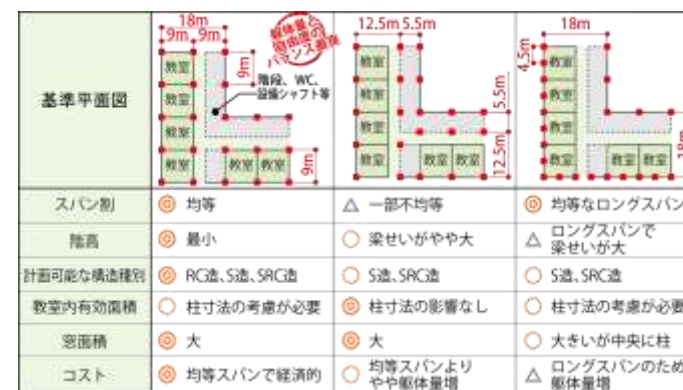
① 生徒数増加に応じた段階的な整備における施設運営に配慮したゾーニングの考え方

幼・小・中の法令を包括する建物骨格
各用途の法令を満足する計画の例



② 転用と変更を重ねる学校の最適解の検討

レイアウトや用途転用の自由度を高める
環境性能と改修影響範囲最小化を両立する空調設備計画



テーマⅢ：区が目指す学校施設の設計と条件を実現するための手法

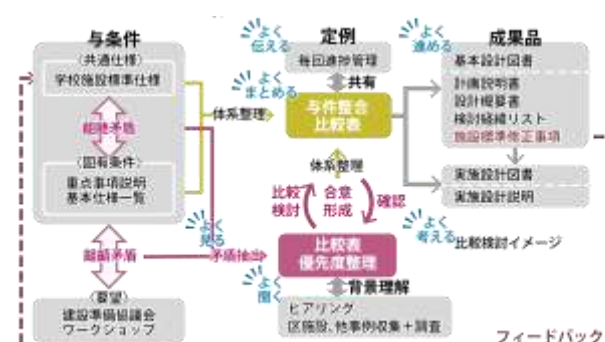
① 設計と条件を正確に把握するための取組

徹底して共通認識を深める工夫



② 設計と条件の矛盾や齟齬への対応

与条件整合比較表を中心とした
「把握⇒矛盾齟齬との調整⇒実現」のフロー



テーマⅣ：学校建設に対する要望を設計に取り入れるための具体案

学校関係者や地域の意見（既存校舎の特徴及び改善など）を反映させるためのプロセス

的確に要望を聴き、地域や関係者の声を提案の魅力に繋げる
反映プロセスの例



■技術提案書の課題テーマ ※設計業務委託プロポーザル公募時の技術提案書作成要領から抜粋

晴海二丁目教育施設建設工事設計業務委託
技術提案書作成要領

1 技術提案書について

本技術提案書作成要領は、晴海二丁目教育施設建設工事設計業務委託にあたり、最適な委託契約候補者を選定するためのものである。

2 技術提案書の内容

本件委託業務の対象となる施設は、地域のまちづくり方針を体現するとともに、用途転用をしやすい配置計画が重要な施設であり、業務の推進に当たっては、設計者の高い技術力及び専門性が求められている。併せて、設計図書等の成果物の品質向上を図るため、各分野の担当者と発注者とが密接に連携し、優れた建築計画を立案することが重要である。

学校施設の計画においては、学校運営及び管理の簡易性、児童及び学校関係者の動線の効率性に配慮するとともに、さらに安全性や利便性を確保し、華美な装飾を避けたシンプルで機能性を重視した校舎とすることで、良好な学習環境の実現をコンセプトとしている。

これらを前提に以下のテーマⅠ～Ⅵについて、コストの縮減を図りながら計画を実現するための取組や方策、工夫等の提案を記載すること。

なお、提案にあたっては晴海中学校新校舎建設工事設計業務委託公募型プロポーザル公募要領の「設計に関する重点事項説明」及び「晴海二丁目教育施設基本仕様一覧」等を参考にすること。

テーマⅠ：業務の実施方針(組織の体制及びスケジュール管理)並びに成果物等の品質確保	20点
■テーマ説明 社会経済状況や行政需要の変化に伴い、学校には、単純な「学校」としての機能にとどまらず、地域コミュニティの活性化や放課後のこどもの居場所としての役割など、多様な機能が求められており、学校施設の機能・性能は高度化・複雑化してきています。 また、限られた設計期間の中で、発注者の多様なニーズや与条件、周辺環境等を的確に把握した上で設計に反映させ、かつ施工段階において手戻りのない質の高い設計を行うためには、設計者個人の資質や経験に加え、設計チーム又は会社としての組織的な取り組み体制、適切なスケジュール管理、設計図書等の品質確保並びに発注者や関係者との信頼関係の構築と連携が重要です。 以上を踏まえて、以下の課題について考え方を提案してください。	
■課題 ・設計チームの取組体制、スケジュールの組立て方や管理について ・成果物等(設計図書、各種報告書及び積算関係書類等)の品質向上について	

テーマⅡ：用途転用とレイアウト変更を重ねる学校施設の提案	30点
■テーマ説明 本事業は、中学校として整備する校舎を、小学校及び幼稚園が建て替え中の仮校舎として先行利用することを特徴としています。小学校及び幼稚園としての利用から中学校への改修期間が限られていることから、工期短縮及び工事費の縮減を図るため、設計段階において、室やスペースを効率的に転用可能なレイアウトの検討並びに改修工事内容の精査が重要となります。 また、中学校としては、当初24学級での運用を開始し、将来的には生徒数の増加に応じて段階的に余剰スペースを活用し、普通教室及び特別教室を整備することで、最大30学級まで増設可能な計画とします。段階整備に当たっては、施設を運用しながら増設工事を行うことが可能となるよう、運用エリアと将来増設対応エリアのゾーニングにも配慮する必要があります。 以上を踏まえ、以下の課題について提案してください。	
■課題 ・効率的な用途転用に配慮したレイアウトと設備の提案 ・生徒数増加に応じた段階的な整備における施設運営に配慮したゾーニングの考え方	

■技術提案書作成要領のテーマ説明 ※設計業務委託プロポーザル公募時の技術提案書作成要領から抜粋

テーマⅢ：区が目指す学校施設の設計と条件を実現するための手法	20点
■テーマ説明 中央区では、教育の平等性を担保し、安全で使いやすい学校施設の建設を目指しており、学校施設の設計方針となる「中央区立学校施設標準仕様」及び「中央区立学校施設標準仕様（幼稚園編）」（以下「学校施設標準仕様」という。）を作成し、学校施設設計に取り入れる基本仕様を定めています。 これらの「学校施設標準仕様」を踏まえたうえで、「重点事項説明」及び「基本仕様一覧」は、晴海中学校新校舎の敷地条件や運用計画を加味し、特に留意すべき事項について整理したものです。 「学校施設標準仕様」、「重点事項説明」及び「基本仕様一覧」は、部屋単位で機能や留意点を整理していることから、施設全体の設計を行う際には、相互に矛盾や齟齬が生じる場合があります。そのため、多くの与条件を整理・調整し、全体として整合の取れた計画とするための取りまとめプロセスが重要になります。 以上を踏まえて、以下の課題について提案してください。	
■課題 ・設計と条件を正確に把握するための取組 ・設計と条件の矛盾や齟齬への対応	

テーマⅣ：学校建設に対する要望を設計に取り入れるための具体案	20点
■テーマ説明 現晴海中学校は、平成3年に校舎が完成し、中学校と特別養護老人ホーム及び保育園が併設された、特色ある複合施設として注目を集め、地域の方々から長年にわたり親しまれてきた学校です。新校舎の建設に当たっては、旧校舎への思い入れに加え、新校舎への期待も大きいことから、学校関係者や地域の方々より、多くの意見や要望が寄せられることが想定されます。 本事業は既存校の建て替えであることから、既存校舎の特徴を継承しつつ、多種多様な意見や要望を取りまとめ、可能な限り設計に反映することにより、新旧の価値が調和した、地域に根差した学校づくりを目指しています。 そのため、設計事務所としての提案力に加え、学校関係者や地域の意見を丁寧に取り取る姿勢が重要となります。 以上を踏まえて、以下の課題について考え方を提案してください。	
■課題 ・学校関係者や地域の意見(既存校舎の特長及び改善など)を反映させるためのプロセス	

テーマⅤ：適正な工期及び工事価格算出の考え方	10点
■テーマ説明 昨今、自治体においては工事の入札不調が多く発生しており、事業スケジュールの見直しや再入札を余儀なくされる事例が増えています。 その背景として、建設需要の集中や深刻化する労働者不足により、建設工事全体の工期が長期化し、工事費が著しく上昇していることから、従来の設計条件と実勢との間に乖離が生じている状況があります。 そこで、設計内容の実現性並びに工期及び工事費の妥当性を確保し、工事不調を未然に防止することを目的として、設計事務所の実績に基づく、具体的かつ実効性のある業務内容の提案が必要であると考えています。 以上を踏まえて、以下の課題について提案してください。	
■課題 ・工期及び工事価格の乖離をなくすための対策 （自社におけるこれまでの実績を分析したうえで提案してください。）	

テーマⅥ：自由意見	一点
■テーマ説明 先述のテーマ以外に、自社における技術力、本業務に対する取組姿勢その他特筆すべき事項について、自由に記載してください。	

1 整備条件の整理

- (1) 学校規模
建設当初 24学級 (人口増を踏まえ最大30学級で運用できる設計とする)
* 1学級の定員は35人
[参考] 月島第一小学校、月島第一幼稚園の仮校舎使用時は、
小学校 24学級、幼稚園 7クラス
- (2) 小学校から中学校への転用
建設当初、月島第一小学校・月島第一幼稚園の仮校舎として利用し、
内部改修を経て晴海中学校の新校舎として使用
- (3) 緑化推進、緑地の保全
晴海通り沿いの既存樹木は可能な限り活用を図り、緑地と学校施設が一体と
なった空間を形成
- (4) 一足制の導入
外履きで校舎内を利用 (体育館は専用靴を利用)
- (5) 校内の移動
授業間の教室移動を考慮したレイアウト
- (6) 施設開放
体育館・校庭・武道場の施設開放を行う
開放しないエリアと区画を分け、施設開放時のセキュリティ動線を確保
- (7) バリアフリー
障がい等の有無にかかわらず、誰もが支障なく学校生活を送ることができる
環境を整備
- (8) 整備諸室等 (詳細は参考資料のとおり)

教室	
① 普通教室	： 中学校の教室面積 (長辺9.0m×短辺8.6m以上)
② 少人数教室	③ 特別教室 (理科室、音楽室、美術室、技術室、家庭科室)
④ 特別支援教室	⑤ 図書室
運動施設	
⑥ 体育館	⑦ 屋内プール (25m×6コース)
⑧ 地上運動場	⑨ 武道場
管理諸室	
⑩ 職員室	⑪ 給食室
⑫ 保健室 ほか	

2 建設コンセプト案

- ◆コンセプト
自然と繋がり、夢を育む、未来へ開かれた「学びの港」
- ◆サブタイトル
ー 活力を育み、多様な「共生」を実現する学び舎 ー

晴海地区においては、新しい施設が次々と誕生し、街の姿が目まぐるしく変化してきました。急速に発展している晴海の街において、子どもたちが心を落ち着けて学び、自らの夢を大きく広げられる環境を整えることは、地域全体の重要な課題と考えております。

そこで、変化し続ける街の活気を成長の力に変え、生徒たちが広い世界へと力強く漕ぎ出していく拠点として「学びの港」をこの地へ築きます。

この安全で健やかな学びの場で育った子どもたちが、日々移り変わる街の歩みに寄り添い、地域の一員としての誇りを持ちながら、互いに助け合い高め合う「共生」の精神を大切に育み、やがて晴海の新しい歴史を創る主役となるよう、以下の3つの柱を軸として学校施設を整備していきます。

- ① 水辺と緑の潤いを身近に感じ、子どもたちが心身ともに健やかにのびのびと活動できる開放的な心地よい空間を整えます。
- ② 晴海の新しい街並みと調和し、子どもたちが地域の風景に愛着と誇りを持ち、地域との繋がりを日常的に意識できる街のシンボルとなるような施設を築きます。
- ③ 災害や防犯への対策を徹底し、地域の発展とともに歩み、子供たちの安全と、地域全体の未来を守り抜く安心な校舎を実現します。

【新校舎建設地】



第2回晴海中学校新校舎建設準備協議会

参考資料②

■整備諸室一覧 ※設計業務委託公募時の資料から抜粋

区 分	室 名 (新晴海中学校 30学級)	室 名 (新晴海中学校 24学級)	室 名 (月島第一小学校仮移転)	室 名 (月島第一幼稚園仮移転)	①室数	②面積[m ²]/室 (最低)	①×② 必要面積[m ²]	
校舎エリア	生徒・児童学習	普通教室	普通教室	普通教室	-	24	77.4	1857.6
		少人数教室	少人数教室	少人数教室	-	10	38.7	387.0
		理科室	理科室	理科室	-	2	115.6	231.2
		理科準備室	理科準備室	理科準備室	-	2	39.3	78.6
		音楽室	音楽室	音楽室	-	2	120.5	241.0
		音楽準備室兼楽器保管庫	音楽準備室兼楽器保管庫	音楽準備室兼楽器保管庫	-	1	87.5	87.5
		美術室	美術室	図画工作室	-	2	120.9	241.8
		美術準備室	美術準備室	図画工作準備室	-	2	40.0	80.0
		技術室	技術室	多目的室	-	1	139.9	139.9
		技術準備室	技術準備室	多目的準備室	-	1	40.5	40.5
		作品保管庫(美術・技術用)	作品保管庫(美術・技術用)	作品保管庫	-	2	40.0	80.0
		家庭科室	家庭科室	家庭科室	-	1	121.0	121.0
		家庭科準備室	家庭科準備室	家庭科準備室	-	1	37.0	37.0
		特別支援教室(学習)	特別支援教室(学習)	特別支援教室(学習)	-	1	92.9	92.9
		特別支援教室(運動)	特別支援教室(運動)	特別支援教室(運動)	-	1	77.4	77.4
		特別支援教室準備室	特別支援教室準備室	特別支援教室準備室	-	1	30.0	30.0
		図書室	図書室	図書室	-	1	380.0	380.0
		図書準備室	図書準備スペース(室)	図書準備スペース(室)	-	1	38.7	38.7
	礼法室	礼法室	礼法室	-	1	77.4	77.4	
	生徒・児童生活	展示コーナー	展示コーナー	展示コーナー	-	1	30.0	30.0
		生徒会室	生徒会室	多目的室(小)	-	1	25.0	25.0
		昇降口・来客用玄関	昇降口・来客用玄関	昇降口・来客用玄関	-	-	適宜	
		生徒用便所(男女)	生徒用便所(男女)	児童用便所(男女)	-	-	適宜	
		水飲み場	水飲み場	水飲み場	-	-	適宜	
		生徒用更衣室	生徒用更衣室	児童用更衣室	-	3	35.0	105.0
		廊下・階段	廊下・階段	廊下・階段	廊下・階段	-	適宜	
	職員管理	職員室	職員室	職員室	-	1	387.2	387.2
		校長室	校長室	校長室	-	1	50.0	50.0
事務室		事務室	事務室	-	1	40.0	40.0	
給湯室		給湯室	給湯室	-	1	15.0	15.0	
主事室		主事室	主事室	-	1	60.0	60.0	
主事用更衣室兼休憩室		主事用更衣室兼休憩室	主事用更衣室兼休憩室	-	2	20.0	40.0	
大会議室		大会議室	大会議室	-	1	100.0	100.0	
中会議室		中会議室	中会議室	-	1	30.0	30.0	
印刷室		印刷室	印刷室	-	1	35.0	35.0	
保健室		保健室	保健室	-	1	70.2	70.2	
教育相談室		教育相談室	教育相談室	-	2	20.0	40.0	
進路相談室		進路相談室	教育相談室	-	1	20.0	20.0	
放送室		放送室	放送室	-	1	20.0	20.0	
PTA室		PTA室	PTA室	-	1	25.0	25.0	
開放用玄関		開放用玄関	開放用玄関	-	-	適宜		
職員用便所(男女)		職員用便所(男女)	職員用便所(男女)	-	1	適宜		
来客用便所(男女)		来客用便所(男女)	来客用便所(男女)	-	1	適宜		
高齢者障害者等用便房 (バリアフリートイレ)		高齢者障害者等用便房 (バリアフリートイレ)	高齢者障害者等用便房 (バリアフリートイレ)	高齢者障害者等用便房 (バリアフリートイレ)	-	適宜		
職員用更衣室(男女)		職員用更衣室(男女)	職員用更衣室(男女)	-	2	40.0	80.0	
昇降機		昇降機	昇降機	昇降機	1	適宜		
給食室		給食室	給食室	-	1	361.0	361.0	
給食専用昇降機		給食専用昇降機	給食専用昇降機	-	1	適宜		
配膳室		配膳室	配膳室	-	-	適宜		
調理員休憩室・更衣室・トイレ		調理員休憩室・更衣室・トイレ	調理員休憩室・更衣室・トイレ	-	1	40.0	40.0	
教材庫		教材庫	教材庫	-	5	15.0	75.0	
倉庫(物品)		倉庫(物品)	倉庫(物品)	-	-	適宜		
倉庫(清掃)		倉庫(清掃)	倉庫(清掃)	-	-	適宜		
ゴミ置き場		ゴミ置き場	ゴミ置き場	ゴミ置き場	1	60.0	60.0	
防災備蓄倉庫(学校用防災倉庫)		防災備蓄倉庫(学校用防災倉庫)	防災備蓄倉庫(学校用防災倉庫)	-	1	30.0	30.0	
駐車場		駐車場	駐車場	駐車場	1	適宜		
自転車駐車場	自転車駐車場	自転車駐車場	-	-	適宜			
他	電気室・機械室 等	電気室・機械室 等	電気室・機械室 等	-	-	適宜		

区 分	室 名 (新晴海中学校 30学級)	室 名 (新晴海中学校 24学級)	室 名 (月島第一小学校仮移転)	室 名 (月島第一幼稚園仮移転)	①室数	②面積[m ²]/室 (最低)	①×② 必要面積[m ²]		
校庭エリア	運動	運動場	運動場	運動場	園庭	1	適宜	適宜	
		屋外生徒用便所(運動場)	屋外生徒用便所(運動場)	屋外児童用便所(運動場)	-	1	適宜		
		倉庫(運動場)	倉庫(運動場)	倉庫(運動場)	倉庫(園庭)	1	35.0	35.0	
		倉庫(地域開放用)	倉庫(地域開放用)	倉庫(地域開放用)	-	1	35.0	35.0	
		プール	プール	プール	-	1	800.0	800.0	
		プール用便所(男女)	プール用便所(男女)	プール用便所(男女)	-	1	適宜		
		プール用更衣室(男女)	プール用更衣室(男女)	プール用更衣室(男女)	-	1	適宜	-	
		プール用倉庫	プール用倉庫	プール用倉庫	-	1	適宜	-	
		-	-	-	幼稚園用プール	1	適宜	-	
		テニスコート	テニスコート	テニス [※] コート用地	-	1	1350.0	1350.0	
	屋上運動場	屋上運動場	-	1					
体育館・増設エリア	体育館・増設エリア	体育館	体育館	体育館	-	1	728.0	728.0	
		更衣室(地域開放用)	更衣室(地域開放用)	更衣室(地域開放用)	-	2	適宜		
		防災拠点倉庫(地域用防災倉庫)	防災拠点倉庫(地域用防災倉庫)	防災拠点倉庫(地域用防災倉庫)	-	2	適宜		
		武道場兼第二体育館	武道場兼第二体育館	武道場兼第二体育館	-	1	640.0	640.0	
		理科室増設スペース	多目的運動スペースⅠ ＋ 多目的運動スペースⅡ (1F・2Fに分けて設置)	-	-	1	115.6	115.6	
		理科準備室増設スペース		-	遊戯室・図書室兼会議室	1	39.3	39.3	
		家庭科室増設スペース		-	預かり保育事務室兼休憩室	1	38.7	38.7	
				-	預かり保育室	1	77.4	77.4	
				-	区職員用更衣室(男女)兼休憩室	1	38.7	38.7	
		家庭科準備室増設スペース		-	プレディー室	1	139.9	139.9	
		技術室増設スペース		-	-	1	40.5	40.5	
		技術準備室増設スペース		-	プレディー事務室	1	77.4	77.4	
		普通教室		計約1200㎡	-	職員室兼保健室兼園長室兼給湯室	1	77.4	77.4
		普通教室		-	-	保育室(4歳児・2室)	2	77.4	154.8
		普通教室		-	-	保育室(5歳児・2室)	2	77.4	154.8
		特別支援学級 普通教室		-	-	保育室(3歳児・3室)	3	77.4	232.2
		特別支援学級準備室		-	-	PTA室	1	30.0	30.0
		特別支援学級用便所		生徒用便所(男女)	-	園児用便所	-	適宜	
		生徒用便所(男女)		生徒用便所(男女)	-	-	-	適宜	
		児童用便所(男女)		児童用便所(男女)	-	-	-	適宜	
		職員用便所(男女)		職員用便所(男女)	職員用便所(男女)	職員用便所(男女)	1	適宜	
		フリースペース		フリースペース 改修作業エリア	-	幼稚園用昇降口・来客用玄関	-	適宜	
		主事室(開放受付)	主事室(開放受付)	-	主事室(開放受付)	1	30.0	30.0	
		倉庫	倉庫	倉庫	倉庫	-	適宜		
		水飲み場	水飲み場	水飲み場	水飲み場	-	適宜		
		廊下・階段	廊下・階段	廊下・階段	廊下・階段	-	適宜		

校舎の形状と配置比較

校舎の配置	① 敷地上側配置 (晴海通り側)		② 敷地下側配置 (住宅側)		③ 敷地左側配置 (都有地側)		④ 敷地右側配置 (春海橋側)	
配置イメージ								
【凡例】	野球グラウンド							
	150mトラック							
	テニスコート							
比較項目								
平面的な移動距離	△	直線的な廊下で長い	△	直線的な廊下で長い	○	回遊性があり、短い	○	回遊性があり、短い
校庭の形状	△	整形だが細長い ・野球グラウンド 不可 ・150mトラック 可 ・テニスコート 可	△	整形だが細長い ・野球グラウンド 不可 ・150mトラック 可 ・テニスコート 可	○	整形 ・野球グラウンド 可 ・150mトラック 可 ・テニスコート 可	○	整形 ・野球グラウンド 可 ・150mトラック 可 ・テニスコート 可
校庭の暑さ指数 (熱中症のリスク) ※シミュレーションによる検証	×	午前中は隣地建物の日陰となるが、 南西からの風が滞留するため、 暑さ指数がやや高い	×	1日を通して日差しが強 く、 さらに南西からの風通し が悪いため、 暑さ指数が高い	×	1日を通して日差しが強 く、 さらに南西からの風通し が悪いため、 暑さ指数が高い	△	午前中は隣地建物の日陰 となり、 さらに南西からの風通し が良いため、 暑さ指数がやや低い
校舎へのアクセス	○	晴海通り側から アクセスしやすい	△	晴海通り側から アクセスしにくい	○	晴海通り側から アクセスしやすい	○	晴海通り側から アクセスしやすい
まとめ	校舎内の平面的な移動が長く、 校庭の形状は使用可能な種目が 限られる。 校庭の、夏場の熱中症リスク がやや高く、校庭利用には制限 が生じる可能性がある。		校舎内の平面的な移動が長く、 校庭の形状は使用可能な種目が 限られる。 校庭の、夏場の熱中症リスク が高く、校庭利用には制限が生 じる可能性がある。		校舎内の平面的な移動が短く、 校庭の使い方の自由度が高い。 校庭の、夏場の熱中症リスク が高く、校庭利用には制限が生 じる可能性がある。		校舎内の平面的な移動が短く、 校庭の使い方の自由度が高い。 校庭の、夏場の熱中症リスク が①～③と比較してやや低く、 校庭利用ができる時間が確保し やすい。	

■校庭の暑さ指数シミュレーション

●目的

- ・検討初期段階で、屋外の暑熱環境の傾向をつかむ。
- ・教育施設や運動施設、屋外滞留スペース等の用途において、熱中症対策指標として定められているWBGTのシミュレーション解析を行う。

●暑さ指数WBGTとは

人間の熱バランスに影響の大きい、気温 湿度 輻射熱(※)の3つを取り入れた温度の指数です。
正確には、これら3つに加え、風(気流)も指標に影響します。
※輻射熱とは、日差しを浴びたときに受ける熱や、地面、建物、人体などから出ている熱です。
温度が高い物体ほど、輻射熱は高くなります。

<WBGT（暑さ指数）の算出方法>

屋外：WBGT=0.7×湿球温度+0.2×黒球温度+0.1×乾球温度

- ※湿球温度は、「空気湿度」と「相対湿度」から算出
- 黒球温度は、「空気湿度」と「日射」と「風速」から算出
- 乾球温度は、「空気温度」を示す

有害性のレベル	WBGT指数	WBGT計が用意できない ときの指標	
		乾球温度	湿球温度
A	31℃以上	35℃以上	27℃以上
B	28～31℃	31～35℃	24～27℃
C	25～28℃	28～31℃	21～24℃
D	21～25℃	24～28℃	18～21℃
E	21℃まで	24℃まで	18℃まで

<学校教育活動等における
熱中症事故の防止について>
(文科省 令和7年)

WBGT	校庭体育	休み時間	地域開放
28未満	通常	通常	実施可
28-31	内容軽減	短縮	条件付き
31以上	中止	原則校内	原則中止

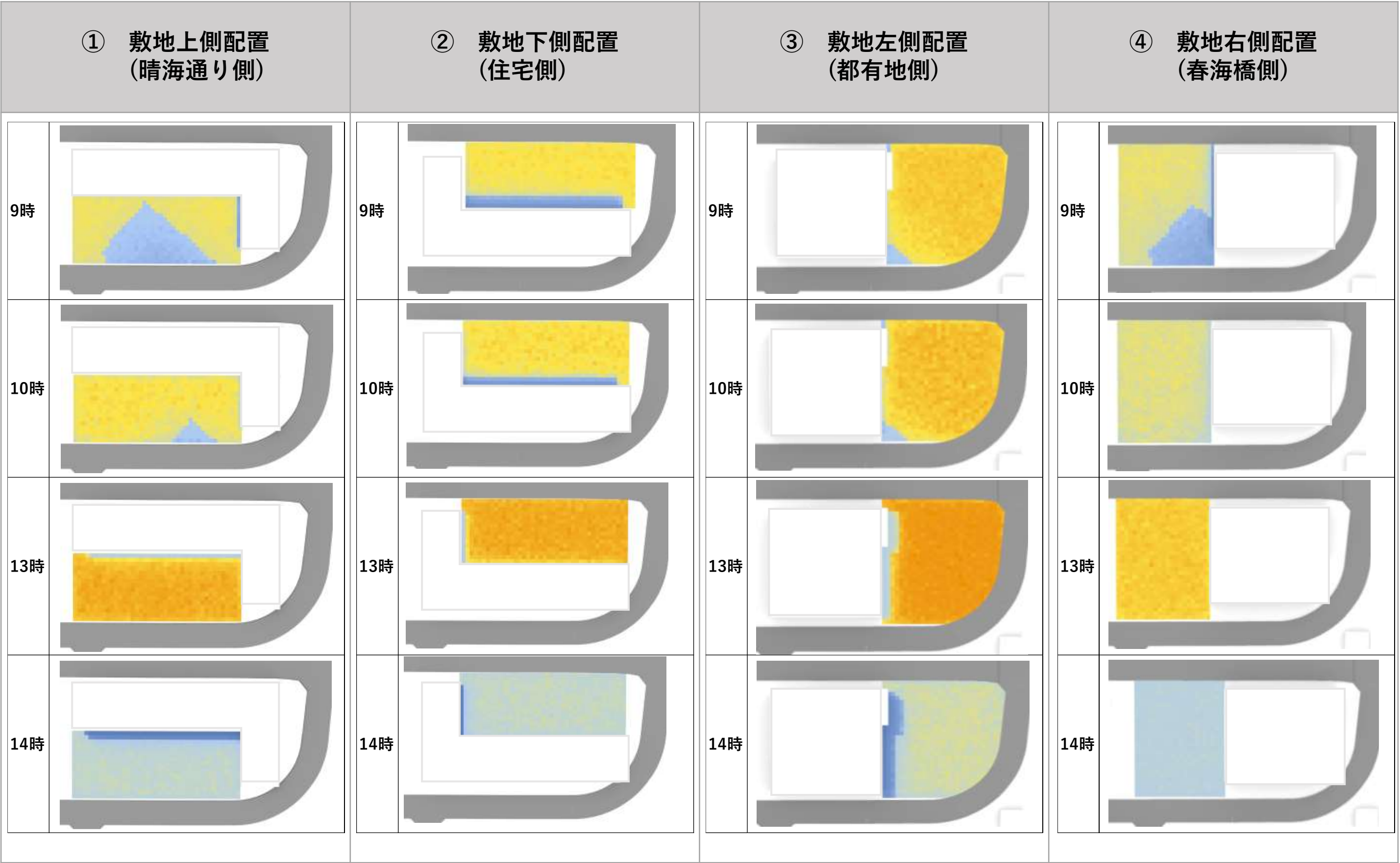
<警戒アラート発表基準の開示>
(環境省)

発表基準 (暑さ指数)	
熱中症特別警戒アラート	35以上
熱中症警戒アラート	33以上
危険	31以上
嚴重警戒	28以上
警戒	25以上
注意	21以上

・教育施設では、文科省・環境省の指針により、WBGT31℃以上は校庭活動中止(目安で気温35℃以上)

校庭の暑さ指数シミュレーション

特定日時のWBGTヒートマップ比較



※シミュレーションによる検証で実際とは異なる場合がございます。

■建物階数と断面配置の検討

階数	3 階	4 階	5 階
断面イメージ	校庭 教室エリア 運動エリア 教室エリア 管理諸室 給食室	校庭 教室エリア 教室エリア 教室エリア 運動エリア 管理諸室 給食室	校庭 教室エリア 教室エリア 教室エリア 教室エリア 運動エリア 管理諸室 給食室
比較項目			
教室の配置	1フロアに16学級 (最大20学級) 配置	1フロアに 8 学級 (最大10学級) 配置	1フロアに 8 学級 (最大10学級) 配置
校庭の広さ	狭い	→ 広い	
上下の移動距離	短い (最大 1 フロア)	→ 長い (最大 3 フロア)	
※普通教室から 特別教室・運動エリアまで			
まとめ	校庭が狭くなるが、上下の移動距離を短くすることができる。 1フロアに2学年分の教室を配置する場合、生徒の安全な動線確保や、休憩時間のトイレ利用について課題がある。	校庭の広さ、上下の移動距離共にバランスが取れている。	校庭を広く確保できるが、普通教室から特別教室・運動エリアまでの上下移動の距離が最大3フロアとなり、移動に時間がかかる。

※ 3 ～ 5 階で設計検討中の内容を整理したものです。